

【再認定】

株式会社カコテクノス

令和3年度ひょうごオンリーワン企業 認定企業



株式会社カコテクノス

代表取締役社長 加古 泰三 氏

ものづくりは人づくり。
人との和を基本に
「止める技術」で
社会に貢献を続ける。

PROFILE

1976年 神戸市生まれ。2000年3月に大学を卒業後、東京で大手通信会社勤務を経て2004年4月カコテクノス入社。大手メーカーへの出向、専務取締役、取締役副社長を歴任の後、2011年12月 代表取締役に就任。「会社発展のため大きな夢と強い意思を持ち、社員をけん引するリーダー」であるべく努力している。趣味は学生時代から続けているランニング。走ることも経営も「目標を持って取り組むことで習慣が変わり、結果につながる」を信条に、全国のマラソンやトライランニング大会に参加している。



整備した部品工場エリア

— 「ひょうごオンリーワン企業」に再認定されました。

弊社の事業を表すキーワードは「止める技術」です。あらゆる環境の中、安全・安定・確実に電気や動きを止める技術で社会への貢献をめざしています。5年前に認定を頂いた後、すぐに「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を頂きましたが、この2つを取った企業は少なく、様々な面でPRにつながり、地域未来牽引企業にも選定いただきました。こうした評価を頂いたおかげで、既存工場から50メートル離れた、これまでは調整区域だったところに新工場の建設を許可頂くことにつながりました。

— 鉄道車両や電力設備の制御機器メーカーとして実績を重ねられています。

主な事業は、新幹線をはじめとする鉄道車両のためのブレーキシステムや制御装置の製造です。また電力事業では、工場から家庭まで電気を安全に送り届けるための各種装置の製造を手がけています。設計から製造・組立・試験まで一貫した体制を整え、雨やほこり、振動といった過酷な環境の中でもきちんと作動するためのハード面を支えながら、いずれの事業分野も良いものづくりを通してお客様が望まれる以上の提案をめざしています。

— 鉄道車両用ブレーキ装置の国内生産シェア50%という御社の強みはどこにありますか？

仕様書一枚で、設計から製造、検査まで一貫して社内に対応できることです。中でもいちばんの強みは、品質保証まで手がける点です。できあがった装置やシステムが正常に作動するか、他の機器との組合せによる不具合が出ないかなど、社内試験を行うのですが、弊社では品質保証を担当する

社員が全国へ出向き現地で検証も行います。それも、耐環境性に応じたものづくりができる高度な技術力があればこそです。おかげさまで近年は、シェア50%で培った技術をブレーキ以外の分野でも望んでいただく機会が増えてきました。社員一人ひとりが自分たちの製品に誇りを持ち、良い製品をつくるんだという想いで取り組んできたことが、今の結果につながっています。

一創業から一貫して「人づくり」を大切に「和」の精神を続けられています。

創業当時から弊社は、お客様が望まれた以上のものを提案し改善しようという思いのもと、社員全員で工夫しチャレンジする姿勢を大切にしてきました。

新工場の建設をきっかけにコミュニティ施設「KAKO TERRACE」を作りました。



ミライをてらす、カコテラス

こちらでは設計にもこだわりがあり、動線を工夫して社員が自然に集まるスペースを作りました。そこではワークショップを開いてのアイデア出しや、3Dスキャナーを使った様々な取り組みを行っています。



ワークショップの様子

こうしたプロジェクトチームへのヒアリングや、社内アンケートを元に経営指針の見直しを検討し、「WORK IN SYNERGY」というスローガンを決定しました。社員・お客様・社会と一体となって相乗効果を生んで、社会インフラの安全・安定を支え続ける「全員が誇れる会社」を目指しています。

また、工場全体が大きくなったので、エリアを「Parts・Assembly・Railway・Kako TERRACE」に分けて、それぞれの頭文字をとって「KAKO PARK」とし、新しいカコテクノスの全体像を表現しました。「和の精神」の土壌を、改めて耕しつくりあげるためのアクションを日々の活動でも意識しています。

一「ものづくりは、人づくり」という理念を具体的に聞かせてください。

ブレーキは、安全・確実がもっとも重要であり、不良は絶対に許されません。ちょっとしたミスが大きな事故につながりますから、重要視されるのは品質です。その品質を守るうえで最も大切なのは、人づくりです。なぜこのネジを締めるのか、どうしてマーキングが必要なのか、一つ一つの作業に意味があることを理解しないと、ただ手を動かすだけではミスにつながります。大切なのは、なぜこの作業が必要なのかを考えながら取り組み「気づく」ことです。自ら考え行動し、気づける人間に成長することが、ミスをなくすことにつながります。

一気づくことの大切さを徹底するために、取組まれていることは何ですか？

昔から改善活動に取り組んでいます。その一つとして全体最適のものづくりと各種システムの活用による最適な生産を行うため、取引先を含めた「社内外のものづくり体質」の強化活動を行っています。具体的には生産効率を高めるために社員に対する「負荷の見える化」に取り組んでいます。これにより業務の平準化につながり、ワークライフバランスの実現にも成功しています。

DX化では、工場全体に無線通信を導入してリアルタイムに状況把握できるシステムを導入しています。生産計画の達成率、標準工数達成率、標準作業率等に対しKPIを設け、自動集計できる仕組みを導入しています。

こうした改善の積み重ねが設計や製造のアイデアに生きてきます。3年に一回、社員全員にアンケート調査を行うのですが、近年は会社に対する関心度が高まってきました。人づくりと技術向上はつながっていることを、社員も感じていることがわかります。弊社では日頃から、不良品を「減らす」のではなく「無くす」ことをめざしています。製

造部門は良い製品をつくるのが営業につながる意識を持ち、営業部門は品質に対する目標を持っています。不良品を無くすのは、こうした人の「和」の精神にある、と言っても過言ではありません。人としての基本はすべてがつながっていて、創業当時から受け継いできたものが今の形であることを実感しています。



車両制御装置組立の様子

—「人」という経営資源から、さらに生まれるものは何でしょうか？

人づくりの先にあるものが、人から生まれるアイデアです。弊社の取り組みは、すべて社員の提案から始まっています。小さな取り組みでは、自分たちで3Dプリンターを使って製作した行動予定表が挙げられ、出張先を含め誰がどこにいるか一目でわかるように工夫しています。



行動予定表の工夫の様子

社員にとっては、自分の提案が形になったことでモチベーションが高まります。そうすると、例えば営業部門は工場を動かすためにも仕事をもっと生み出そう、と業績アップにつながる流れができます。社員同士で相乗効果を発揮し、一貫した品質で共に創り上げることを目指しています。

—今後の展望をお聞かせください。

弊社は創業100年を迎えるにあたり3つのコンセプトを策定しました。

創業100年を目指した在るべき姿

- ① 100年家族：社員の働きがいと安定した生活を助ける「連帯感の創出」
- ② 100億売上：既存の技術を深化させ、新しい技術へと伸化させる「需要の創出」
- ③ 100年企業：世の中の安心、安全を支える、プロ集団としての「誇りの創出」

100年企業への土台作りに向けて、新中期計画「2023年Vision」を進めています。「一貫 共創技術を高めよう」をスローガンに、自社製品をさらに育てることをめざしています。自社製品を大切にすることで、言われる前に自分たちで行動を起こす、という想いを、社員一人ひとりが持つことにもつながります。時代は常に変化していますから、今まで通りのことをしては遅れていくだけになります。自分たちが変わるチャレンジを続けま

—「オンリーワン」をめざす企業へのメッセージをお願いします。

全社員が誇れる会社になることです。誇れる会社とは、社員一人ひとりのモチベーションが高く、地域社会を含めたすべての人たちに「いい会社だね」と言ってもらえる企業であると考えます。「ひょうごオンリーワン」の認定は、そんな誇れる会社に近づいてきた一つの証しです。やるべきことをやり続けることが、最終的にオンリーワンに近づくことだと思います。社員一丸となって「基本」に取組み続け、その先に自社ならではのオンリーワンが見えてくるはずです。弊社もこの認定に恥じないよう今後も精進を続けます。



車両制御装置部品加工の様子

TECHNOLOGY

鉄道車両を安全・安心に「止める」！ 最先端の制御技術



事業の柱は交通コントロール事業「鉄道車両用制御システム」。新幹線、新型鉄道車両のブレーキシステムや、ATC(自動列車制御装置)、ATO(自動列車運転制御装置)といった保安機器、モニター装置・駆動装置などの、設計・製造・検査を一貫して手がける体制を構築しています。

新幹線をはじめ国内を走行する電車のおよそ半数が、株式会社カコテクノスの制御機器を搭載。この国内生産シェア50%の技術力を活かし、世界各国の鉄道における電気部品をはじめ発電所の機器、さらには人工衛星といった宇宙分野まで製品が採用されるなど、止める技術の応用は電力や産業機器事業へも広がっています。

鉄道車両の制御システムが設置されるのは、運転台や座席下といった車上機器の他、車両の下に位置する床下機器。雨やほこり、振動などの過酷な環境に耐えうる堅牢性が求められます。こうした環境耐性に活きるのが、株式会社カコテクノスの技術力の高さです。防水・防塵・耐震・耐久に対応するための構造設計と、ノイズ・低電圧に対応するための回路設計。それらの設計仕様に応じたものづくりから、設計技術と製造技術の融合による最適製品の提供、さらには品質保証につながる検査・検証まで、常に向上を心がけながら全部門が連携。安心・安全な社会創造に貢献すべく、より良い製品の製造をめざしています。

開発に至った経緯

1948年から電車ブレーキの機械加工をスタートした株式会社カコテクノス。以来、お客様の要望に応えるとともに最適なQCDの実現をめざし、1980年には設計から製造・検査までを引き受ける一貫体制化に着手。多数の設計者によるシステム提案が可能になり、止める技術を「パーツ」から「装置」「仕組み」へと高めてきました。それぞれの部門でフィードバックが可能になったことにより、社会インフラのニーズに応える新たな技術開発に挑戦しています。

独自性

株式会社カコテクノスの特長の一つが、社員50人で取組む検証体制です。製造したブレーキ装置や保安装置等の各種試験を、社内だけでなく現地へ出向いて自らの手で実施。製造だけにとどまらず、品質保証まで一貫して対応しています。さらに、現場で生まれたアイデアや改良のヒントを設計や製造部門にフィードバック。全社一丸となり、常に「全数良品」「不良ゼロ」をめざした品質管理を行っています。

今後の展望

2021年に開設した新工場では、精度の高い機械設備や三次元測定機等を大きな地震から守るため、耐震構造の機械工場とし、機械課のCAD/CAMシステムとNC加工機をネットワーク化してプログラムの操作性を向上させました。さらに切削液の自動供給装置も導入しました。今後はこれまで弊社が培ってきた技術と新しい技術であるIoTの活用を行い、リモート操作やリモートメンテナンスによる予知保全を行うことも目標にしています。

TOPICS

社員家族とも交流を深めるコミフェス

2018年4月28日、社員の健康意識の向上と社員同士のコミュニケーションを益々深める事を目的として「カコ・コミフェス(社内運動会)」を開催しました。社員、ご家族の方々が参加し大いに盛り上がり、続く2019年にもカコ・コミフェス2019を開催しました。従業員、ご家族に加え、関連会社のサンテックの従業員も参加し、4チームに分かれ優勝を目指して競い合いました。各チームの新社員の選手宣誓で始まり、家族で参加できるお買い物リレーや従業員が見て楽しめる幹部の障害物リレー、知力が試される〇×クイズなど、子供から大人まで楽しく参加でき、コミュニケーションをより深める事ができました。



「職域における創意工夫者表彰」ならびに「兵庫県技能顕功賞」を継続受賞！

兵庫工業会「職域における創意工夫者表彰」ならびに「兵庫県技能顕功賞」を2021年も継続受賞しました。これにより、「職域における創意工夫者表彰」は25年連続、「兵庫県技能顕功賞」は19年連続の受賞となります。関連会社のサンテックの社員も5年連続「職域における創意工夫者表彰」を受賞中です。改善を心がけ、自ら考え行動するという目標にチャレンジを続けた成果であり、さらなる成長をめざしています。



沿革

1935年	神戸市内で創立	2015年	経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定
1961年	加古工業所を株式会社として設立	2016年	「ひょうごオンリーワン企業」に選定
1980年	小野市浄谷工業団地に小野工場開設	2017年	「ひょうごNo.1ものづくり大賞」に「回転速度センサ」が選定
1984年	神戸市内に板金工場を開設し、一貫生産体制を整えた	2018年	「地域未来牽引企業」(経済産業省)に選定
2001年	サンテック株式会社設立	2021年	サンテック株式会社丹後工場を開設 小野工場に新機械工場を開設
2003年	株式会社カコテクノスに社名変更	2022年	小野工場に新板金工場を開設 カコテラス(開発・商談・コミュニケーション棟)を開設
2011年	「ひょうご経営革新賞」受賞 神戸電鉄1117号車を譲渡いただく		
2012年	「2011KANSAIモノ作り元気企業100社」認定		

会社概要

所在地	〒654-0024 兵庫県神戸市須磨区大田町7-4-2	資本金 設立	7,700万円 1961年12月1日 (創業 1935年)
電話	078-732-3851(代表)	代表者	代表取締役会長 加古公一 代表取締役社長 加古泰三
FAX	078-732-3856		
URL	http://www.kako.co.jp/		
従業員数	256名 (2021年11月)		

事業概要

鉄道車両用電気機器(制御機器・補助機器他)、電力送配電用機器(制御装置他)、産業用制御機器の設計、製作。機械及び板金部品の製作。